

掲載しているイベント・休館日等の情報は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等に応じて、中止または変更になる場合があります。最新の情報は、図書館ホームページにて掲載しています。

【12月の休館日】7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)～1月4日(月)

年末年始の休館日

【中央図書館・こども図書館・中央公民館図書室】

12 / 28 月～令和3年1 / 4 月

【東地区・城南地区公民館図書室】

12 / 28 月～令和3年1 / 5 火

▼休館中の返却は…▼

- ・中央図書館または中央公民館の返却ポストをご利用ください。
- ・相互貸借資料、ポストに入らない大型図書などは、開館後にご返却ください。

令和2年を振り返って

▼新型コロナウイルス感染症▼

感染症の流行や、それに伴う働き方(テレワークなど)関連の本が数多く出版され、図書館でも多くの図書が貸出されています。

また、3月は臨時休館、4月以降は制限がある中での利用や講座参加をお願いするなど、多くのご不便をおかけしました。



▲写真左から「新型コロナウイルス感染症に関する労働問題Q&A」(労働調査会)／「コロナが変えた世界」(Pヴァイン)／「どうして僕たちは、あんな働き方をしていたんだろう？」(河野英太郎著・ダイヤモンド社)

▼上半期人気ランキング(一般向け部門)▼

- 1位 流浪の月(風良ゆう)
- 2位 希望の糸(東野圭吾)
- 3位 ライオンのおやつ(小川糸)
- 4位 落日(湊かなえ)
- 5位 ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー(ブレイディみかこ)



12月のおはなし会

◆こども図書館(午前10時30分～)

- おはなし玉手箱……………5日(土)
- ひよこのおはなしかい……………10日(木)
- むかしむかしのおはなし会……………19日(土)

◆中央公民館(午後2時30分～)

- おはなしフレンズ……………12日(土)



▲石岡別所遺跡出土の「S字甕」

道石岡つくば線の整備に伴って発掘調査が行われた石岡別所遺跡では、写真のような土器が出土しています。特徴的なのは土器の口の部分。「S」の字のように3回屈曲させていることから「S字状口縁台付甕略称・S字甕」と呼ばれているものです。弥生時代の終わり頃から古墳時代にかけて、愛知県を中心とした地域で盛んに作られた土器です。

時の記憶

シリーズ181

S字甕

文化振興課(支所)

Tel 43-1111 (内線1324)

なぜそのような土器が石岡で発見されたのでしょうか。石岡別所遺跡のS字甕に使われている粘土は、石岡で見られるそのほかの土器と同じものでした。つまり、土器自体が持ち込まれたのではなく、人が移動してきて、その出身地の土器を作ったと考えられそうです。

土器の「出身地」を調べていくと、愛知県のほか、南関東や北陸地方など、色々な地域があります。つまり、色々な地域からの人の移動が想像できるのです。石岡の豊かな土地を狙ってやってきたのでしょうか。このような各地からの移住者たちが鉄器などの先進的な技術・文化を伝え、その結果、古墳文化が成立したと考えられます。

「S字甕」は、ふるさと歴史館で開催中の企画展「古墳出現」で展示しています。ふるさと歴史館企画展

古墳出現

期間 / 12月27日(日)まで
場所 / ふるさと歴史館

休館日 / 月曜日

(祝日の場合は翌日)

俳句

いしおか俳句同好会

望月や夕餉^{ゆうこう}支度^{しど}の匂う道

三村 田端 俊行

ダイエツト今日は解禁栗御強

東光台 野村 洋子

短日の夕陽止め置く画鋏欲し

細谷 松崎 淑子

歳だからと医師の一言そぞろ寒

総社 山口 美津子

靴音に齡ありけり星月夜

やさと俳句会

柿岡 岡村 素泡

蓮の実の飛ぶまで互ひ凭れ合い

瓦谷 國谷 南風

鈍色の広きみづうみ鳥渡る

加良寿理 島田 美沙生

身に入むや馴染みの宿舎閉ざさる

短歌

石岡短歌同好会

山崎 西口はま子

赤紫蘇に良く染まりたる梅干しは

嫁の丹精日の匂ひする

高浜 大嶋 全江

人を呼ぶひととを結べる公園の

椅子に桜葉秋を呼びたる

山崎 若色 茂

すれ違う投函の吾と野球の子
たがいの楽しみ重なりし朝

俚謡(都々逸)

石岡俚謡会

東大橋 醍醐 正夫

何を語るか 見上げた空に

紅い朝焼け 陽が昇る

山崎 若色 茂

紅い朱肉は もういらぬか

離婚届も オンライン

川 又前島 節子

苦勞共にし 稲作作業

あうん呼吸で 五十年

総社 暁 夢華

窓に大きな 満月覗き

母のお秋に 唾を飲む

東石岡 惣野代 英子

ひと目惚れした 稲穂も実り

心賣^{あなた}方に ササニシキ

若松 川崎 洋子

色をなくした 稲刈り跡に

羽根を光らす 赤とんぼ

国府 坂下 蜻蛉

窓にはりつく 稲子^{いなご}を乗せて

黄金田の道 走り抜く

南台 香俱耶姫

紅緒よちよち 左へ右へ

晴れ着嬉しい 七五三

貝地 前島くに子

孫の氣遣い 認知の祖父に
ひとつふたつと 箱作り

川柳

いしおか川柳会

石岡 北白川 令

意外にもマスクが似合う私です

小幡 高橋 房子

百までも生きる幸せ不幸せ

柿岡 永瀬 敬子

あの人の素顔知るの私だけ

投稿作品

真家 川崎 夫久

百生のおだやかな顔未練あり

石岡 森田 愛子

尼寺跡に帰宅の鐘や月見草

正上内 宮内 厚子

まどろみで日暮れの雨の愁思かな

石岡 赤津 貞行

石岡いいな果物美味い

コロナなくなれ筑波山

北府中 友部 澄子

捨てられし子猫が二匹わが宿に

住みつき独りぐらしを慰めくれぬ

柴内 羽生 俊

十五夜に美しくしい月供えなし

詫しい気持ちお願いしたり

第27回 石岡かるた会

文化協会だより

石岡かるた会では、勝ち負けに関係なく、百人一首を通して古典に親しむとともに、会員の親睦を図り、楽しむことをモットーとしています。何度も読み、聞くことで和歌に込められた意味や風景も自ずと心にしみてきます。読み札を声に出して読むことは、元気の源となり、興じているうちに、気持ちも高揚してくるものです。

現在の活動は、国府地区公民館で毎月第一土曜日と第三日曜日に、午後1時から4時まで、休憩を挟んで四回ほど、読み手を

変えて行っています。

百人一首は、美しい日本の風景や日本人の豊かな感性、心を表現した日本の宝といってもよい文化財です。少しでも、日本古来の伝統を理解し、先人の築いた文化を伝えていく活動になればと思っております。そして生涯学習が推奨される昨今、興味を持つ者同士が気軽に集える場になることを願って活動しております。

会員数：9名 会費：無料

石岡かるた会 前野みよ TEL 22-5476